

臨床研究に関するお知らせ

「胃癌症例における多施設共同後方視的研究」のご協力お願い

背景と目的

われわれは胃癌治療ガイドラインに基づいて日常診療に当たっております。しかしながら、ガイドラインに記載のない病状や病態の症例は、単施設に限定しますと数も限られて十分な検討が出来ません。そこで、複数施設のデータを持ち寄ることで、検討困難な課題に対して学術的にアプローチしていくことを計画しました。

対象と方法

本研究は、当院の倫理委員会の承認を得て実施するものです。

主任研究施設である東邦大学医療センター大森病院においても、倫理委員会での承認を受けております。

2000年1月1日から2016年12月31日の間に当院で胃癌の手術を受けた患者さんで、術前に「病理検体を医学研究・教育に使用することについての同意書」にサインをいただいた方を対象とします。診療録から抽出した血液・尿検査結果、画像検査、病理検査のデータを収集して行う研究です。患者さんに新たなご負担はございません。

本研究は当院に加えて、東邦大学医療センター大森病院、東邦大学医療センター佐倉病院、東邦大学医療センター大橋病院、東京大学医学部付属病院、東京慈恵会医科大学附属病院、国立病院機構東京医療センター、大森赤十字病院、三井記念病院、NTT東日本関東病院の計10施設で行う予定です。これまでに症例数が少ないために検討が困難であった病状や病態の症例に対して、一定の見解が得られる可能性があります。

今回の研究で得られた結果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人が特定されるような情報が漏れることは一切ありません。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は2017年9月30日までに下記あてにご連絡ください。

2017年7月*日

連絡先、担当者

日本赤十字社医療センター 胃食道外科 研究責任者：永岡 栄

住所：東京都広尾4-1-22

電話：03-3400-1311（内線66057）

FAX：03-3409-1604

Eメールでのお問い合わせ: